

磐梯山の噴火による地形変化

1888年の磐梯山の噴火は、北側の峰・小磐梯の山体崩壊を引き起こしました。これが岩なだれを引き起こし、村落を完全に埋没させ、主要河川の流れをせき止め、広大な地域が浸水しました。岩屑が水をせき止め、桧原湖や小野川湖、有名な五色沼など、およそ 300 の湖沼群が形成され、この地の景観はすっかり様変わりしました。今でも裏磐梯を訪れるハイカーは、桧原湖に沈んだ神社の鳥居や磐梯山の崩壊跡のくっきりした断面など、破壊のつめ跡を見ることができます。